

研究課題発表
学習指導案

指導者：
授業者：

『現代社会』（東京書籍）

1.日時 2021年6月8日

2.場所

3.学年 1年

4.単元名 18歳選挙権の時代

5.単元目標

若者の政治への無関心が問題になる中でこれから有権者となっていく生徒に対して、選挙の必要性や現在の課題を伝え、その解決方法を考えさせることで選挙や政治に対して関心を持たせる。

6.教材観

なぜ選挙に行く必要があるのか、実際に若者を選挙に行かせるためにはどうすればよいか考えることで、政治や選挙に関する知識を身に付け、普段からそうした分野に関心を持てるようにする。

7.生徒観

とても素直で集中して話を聞いてくれる。横やグループでの話し合いも積極的に行ってくれる。

ただし授業内容が単調な時や、複雑や分からない範囲になると気持ちが離れてしまうので注意が必要。

8. 単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
提示する問やテーマに対して積極的に考え、自分なりの答えを出そうとしている。	提示する問やテーマに対して授業の内容を踏まえながら考察し、その答えを自分の言葉でまとめることができる。	自分の考えをまとめ、発言したり、文章にまとめたりすることができる。	政治や選挙に関する用語や課題について理解している。

9.単元の指導計画（全2時間）

①選挙の必要性/若者の投票率の低さ

②民意は反映されているのか/若者が政治に参加するためには ←本時

10.本時の展開

(1)本時の学習内容

本当に民意は反映されているのか、若者が選挙に参加するためにはどうすればよいのかを考える

(2)本時の目標

本当に民意は反映されているのか、若者が選挙に参加するためにはどうすればよいのかを考え、自分の言葉でその理由をのべることができる。

11.参考文献

使用教科書：現代社会（東京書籍株式会社）

本質が見えてくる最新現代社会資料集 2021（第一学習社）

現代社会用語集 第二版（山川出版社）

岩波新書編集部『18歳からの民主主義』岩波書店、2016年

林大介『18歳選挙権』で社会はどう変わるか』集英社、2016年

全国民主主義教育研究会『18歳からの選挙Q&A』同時代社、2015年

石田徹・高橋進・渡辺博明『「18歳選挙権」時代のシティズンシップ教育日本と諸外国の経験と模索』法律文化社、2019年

池上彰『池上彰の選挙と政治がゼロからわかる本』河出書房新社、2013年

『私たちが拓く日本の未来』

000690326.pdf (soumu.go.jp)、2021年5月23日アクセス

段階	学習内容	学習活動	留意点
導入 「復習」 (5分)	前回の復習 ・なぜ選挙が必要なのか →全員で話し合うことが現実的ではなく、代表を選ぶことによって私たちの意見を政治に反映させる必要があるため ・若者が選挙に参加しないことの何が問題なのか →政治家の政策が高齢者に向いてしまい、若者の声が政治に届きにくくなり、若者に向けた政策が実現しにくくなる→日本のこれからを担っていく若者を無視して将来に関する政治が行われることに 本時のテーマ ・民意は本当に反映されているのか ・あなたは選挙に行く/行かない	なぜ選挙が必要なのか、若者が選挙に参加しないことの問題が何なのか思い出す テーマの確認を通して本時の流れを大まかに把握する	横同士で話をさせて確認する時間を取る（1～2分程度） その後全体に対して前回の内容について説明する ここでいう全員とは少数ではなく非常に多数であることを指摘する 本時のメインとして最後にグループワークを行うことを伝える
展開① 「本当に民意は反映されているのか」 (15分)	【問】本当に民意は反映されているのか ・民意とは... みんなの意見、集団の意見 個人の意見とは異なる ・アベノマスクの例	民意がどのようなものであるか、個人の意見とは必ずしも同じではないことを理解する アベノマスクの例からお金の使い	民意について具体例を挙げながら個人の意見との違いについて説明する 集団での食事を例に挙げ、その後選挙に結びつける アベノマスクの賛否については

<p>総費用約 260 億円</p> <p>→日本の全ての 16 歳に格安スマホを配れる</p> <p>→枚方 T-site3.5 個</p> <p>→御座候 2 億 7368 万 4210 個</p> <p>Q 考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納得のいかない政策、お金の使い方はあるか ・どんなことにお金を使ってほしいか、どんな政策を行ってほしいか <p>Q 枚方高校の環境改善のためにはどこに働きかける必要があるか</p> <p>A 大阪府</p> <p>>候補者の公約</p> <p>選挙で政治家を選ぶ際の判断基準になる</p> <p>公約...当選したら何をするかという約束</p> <p>(公約撤回の例)</p> <p>1995 年、愛知県で愛知万博中止を公約としていた候補が当選後、立場を一転万博推進派になったことで支援者から訴訟を起こされる。</p> <p>→結果は敗訴</p> <p>→政治家の公約は特定の国民と法的な委任関係を結ぶものではない</p> <p>→選挙で選んで終わりではなく、しっかり意見を反映させてくれるのか監視する必要がある</p>	<p>方について考える</p> <p>実際に自分なら税金の使い道を含めてどのような政策を行ってほしいか考える</p> <p>自分の意見を反映させるためにはどこに働きかける必要があるのか確認する</p> <p>公約が候補者を選ぶ上で重要な判断基準であることを理解する</p> <p>自分たちの考えと政治家の公約が一致し、それが政策として実現することで民意が反映されることを理解する</p> <p>選んで終わりではなく、その後監視を行うことが必要だと理解する</p>	<p>議論しないことを強調する</p> <p>アベノマスクの費用で何がどれだけ買えるか生徒に考えさせる</p> <p>横同士で話合わせる</p> <p>話し合いの後 2~3 人から意見を聞く</p> <p>この中で学校環境に関する意見を引き出したい</p> <p>→そのために話し合いの間に机周巡視を行いどの生徒がどのような意見を持っているのか確認する</p> <p>多くの候補者の中で教育に力を入れる公約を掲げる候補者を選ぶ必要があることを伝える</p> <p>そこから公約の解説につなげる</p> <p>公約と民意の関係を強調する</p> <p>万博について簡単な説明とお金がかかることを伝える</p> <p>余談</p> <p>2005 年開催の愛・地球博 (生徒の生まれ年と同じ)</p> <p>2022 年秋にジブリパークに生まれ変わる</p>
---	---	---

	<p>決まった選挙が 20 も存在 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 票未満の得票数差 (千葉県銚子市：0.474 票) ・ 同数得票 一くじ引き (2019 年神奈川県相模原市の市 議会議員選挙) <p>一票は無駄ではなく、選挙に行く だけでこうした結果をひっくり 返すことができる</p> <p>>選挙の考え方 選ぶ側面... 誰を当選させたいか 選ばない側面... 誰を当選させたくないか →そもそも選挙に参加していな いと文句も言えない</p>	<p>ってしまうことがあることを知る</p> <p>最下位の得票数が同じ場合どのよ うにして当選/落選を決めるかを 考える</p> <p>自分たちの一票は無駄ではないと いう意識を持つ</p> <p>選挙に選ぶという側面以外にも選 ばせないという側面もあることを 知る</p>	<p>が生じる理由を説明する</p> <p>どのように決めるか生徒に尋ね る (民主的な決め方を尋ねる)</p> <p>18 歳選挙権で増えた有権者の数 や今の 16 歳人口の数値を出し て、若者が選挙に行けば結果を変 えられる程度の票差の選挙はも っとたくさんあることを伝える</p> <p>選挙に対する別の捉え方を伝え ることで支持するところがなく ても選挙に参加する意義がある ことを伝え、選挙へのハードルを 下げてもら</p>
<p>展開③ 「あなたは 選挙に行く /行かない」 (10 分)</p>	<p>【問】あなたは選挙に行く/行か ない (条件設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 18 歳の高校 3 年生 ・ テスト明けの日曜日 (テストのために一か月遊びに行 かず勉強していた) ・ 前々から予定していた好きな ことができる(何でも構わない) ・ 地元から離れたところで朝早 くから夜遅くまで一日中遊ぶ ・ その日は選挙の投票日だとい う事に気付く ・ 遊びに行くと選挙に間に合わ ない 	<p>実際の状況を想像して自分は選挙 に行くのか、行かないのかを考え る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まず一人で行く/行かないを考 え、理由をプリントに記入する ・ その後、6~7 人班で話し合い を行い選挙に行く/行かないを決 める ・ すべての班が意見を発表する 	<p>机を固めてもらい、班で話し合い を行ってもら</p> <p>最期に発表してもらうことを伝 え発表者を事前に決めさせる</p> <p>話し合いの時間で机間巡視を行 い、行くと選択する班を探す ※移動の時間考慮 ※飛沫に注意</p> <p>全ての班に発表してもらい、その 内容を黒板にまとめる(行く/行 かない)</p> <p>机間巡視の際に班の意見として 「行く」を選択している班が得れ</p>

	→選挙に行く？行かない？		ばそこを最後に当てるようにする
<p>まとめ (5分)</p>	<p>(フィードバック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日前投票 <p>選挙の告示日の翌日から選挙の前日まで可能(約2週間)</p> <p>投票時間は8時半から20時まで</p> <p>Q 次のうち投票できないのはどこ？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの市区町村 ・インターネット ・船の上 ・南極 ・海外 ・病院 ・郵便 <p>→インターネット</p> <p>政治・選挙に関心を持ってもらいたいのは主権者だから</p> <p>主権者...政治に参加できる権利を有している</p> <p>→投票を通して政治に影響を与える(民主主義的に政治を動かす)ことで政治は作られてきた</p> <p>→同様にこれからの政治を作ってほしい</p> <p>民主主義、主権については次回以降</p>	<p>他の班の意見を聞いて考えを深める</p> <p>期日前投票などの制度を知り、それらを利用することで遊びも選挙もどちらも可能であることを知る</p> <p>自身が主権者として選挙に行く必要性を感じる</p>	<p>どちらの意見も肯定的にフィードバックする</p> <p>「行く」→そのまま18歳で選挙行って</p> <p>「行かない」→共感したうえで選挙に行ってもいいと伝える</p> <p>そのための手段として期日前投票の紹介</p> <p>なぜインターネットで投票できないのか、他の場所で投票できるのか簡単に説明する</p>